

1) 緑のプロムナード

- ・中央通りと公園とが一体となった緑のゾーンを形成するこのゾーンは、歩道空間の並木と公園の緑が連続したこち良いストリートとなる。
- ・都市計画道路“中央通り線”の断面構成は、車道9m、歩道3.5m×2で総幅員16mである。歩道部は車道側に1.5mの植栽帯を設け、並木や足元に刈り込みなどを配した厚みある緑を持たせる。(A)
- ・既設公園側はゆるやかで比較的奥行きのある樹林の斜面が形成されている。(B)
- ・新設部は、通りに沿ってエントランス広場、プレイロット、駐車場等が連続するが、道路空間とほぼフラットにそれぞれの施設が展開する。
また、ベンチや刈り込みなどの休息ゾーンが形成されているなど(C)、公園との一体感をより強く感じるストリートとする。

